



## ダヌタさん、日本上陸へ

井上 紘一

本誌 96 号で紹介したダヌタ・オニシュキェヴィチさんはすでにマレーシアとその周辺国に滞在中。来年早々にはシンガポールを発って長崎へ入港(2 月中旬)、曾祖父ユゼフ・ピウスツキの兄ブロニスワフが日本に残した足跡を辿りつつ、九州から北海道までを三ヶ月で縦断する計画だそうです。

### ブロニスワフの足跡を辿って世界一周へ

2019 年 1 月 7 日ワルシャワを発ったダヌタさん=写真上=はリトワニア、エストニアを経てロシア入国(サンクト・ペテルブルグ⇒モスクワ)、その後ウクライナのキエフ経由でオデッサに着きました(4/29)。ブロニスワフ・ピウスツキ(1866-1918)は 1887 年、皇帝暗殺未遂事件の既決囚として護送列車で帝都を離れ(5/27)、オデッサ着は 10 日後でした(6/6)。132 年後のダヌタさんは 3 倍の時間をかけて、ブロニスワフの軌跡をやはり鉄道で追ったわけです。(彼女の動静は facebook, instagram, youtube, 本会 HP など参照)

ブロニスワフは「ロシア義勇艦隊社」のニージニー・ノヴゴロド号で、オデッサからスエズ運河⇒コロンボ⇒シンガポール⇒長崎⇒ウラヂヴォストクを経てサハリンのアレクサンドロフスク哨所まで移送されました(6/9-8/3)。ダヌタさんも同じ航路でマレーシアへ向かう貨物船に便乗してオデッサ出港(5/8)、3 週間後クアラルンプールに入港しました(5/31)。

当初計画では別の便船で中国を経てロシア極東へ向かうはずでしたが、予期せぬ事態が出来し長期の足止めを喰らっています。マレーシアのロシア大使館で、ロシアへの再入国と長期滞在には然るべき機関の招待状が必須と告げられたダヌタさんは、招待主の探索に着手するも捗々しい成果が得られなかったのです。その間の食・住を確保し向後の路銀も蓄えるべく、ジョージタウンのキャンプ場でアルバイトを開始します。三ヶ月後によくユジノ・サハリンスクのサハリン州郷土博物館から招待状発行の受諾通知が届いたものの、ダヌタさんは極寒のロシアを回避すべく、年末までのマレーシア滞在を決断したそうです。9 月初めには滞在ビザ更新のため一時出国してヴェトナム・カンボジアを歴訪、同様に現在も隣国タイにおられるようです。

ダヌタさんは 1988 年、ルヴフ(現リヴィウ)出身のヤヌシュ・オニシュキェヴィチと、ユゼフ・ピウスツキ



の孫ヨアンナ(旧姓ヤラチェフスカ)の三女としてワルシャワに生まれ、大学・大学院では文化・映像人類学を専攻しました。彼女は B・ピウスツキの没後百周年を期して、超有名な曾祖父のほとんど無名の兄が行った「ほとんど世界一周」の旅を「電子時代のエスノグラフィー」の標的に定め、友人のミハウ・ヤクボフスキ氏(IT 専門家=写真上右=)、ヨアンナ・バラノフスカさん(日本学者=同左=)と語らって、ブロニスワフ(愛称プロネク)の足跡を忠実に辿る「プロネク・プロジェクト」を立ち上げました。彼女らはクラウドファンディングを介して有志の方々から浄財を募っていますが、いまだ資金は不足気味とのこと、この場をお借りして支援を呼びかけます。

👉 <https://zrzutka.pl/t9uh3p>

ダヌタさんはポーランド出発後、リトワニア・ロシア・ウクライナ・地中海・紅海・インド洋・東南アジアの一人旅をビデオカメラで仔細に記録し、その一部を youtube で公開中です。ゆくゆくはブロニスワフに関するデータベースをネット空間に立ち上げ、双方向的情報交流の場を創出する計画だそうです。

間もなく始まる「プロネク・プロジェクト」日本篇では(予定されたバラノフスカさんの合流が資金不足で中止されましたが)インタビューを求められることもあるかも知れません。その際はよろしくお願ひします。

彼女の旅はいまだ緒に就いたばかり、日本以降はロシア極東(沿海地方・サハリン州)⇒太平洋⇒米国⇒大西洋⇒欧州とはるかな長途が控えています。ブロニスワフの「ほとんど世界一周」の轍を踏まず地球周回を果たし、2 年後にはワルシャワに無事ゴールインされるよう願ってやみません。Bon voyage!

### 父ヤヌシュ・オニシュキェヴィチ

ダヌタさんの父ヤヌシュ・オニシュキェヴィチ氏は著名な登山家で、連帯運動の闘士でもあり、ロンドンから運動に馳せ参じたヨアンナさんとの獄中結婚は世界中に報道され、運動を大いに鼓舞しました。ヤヌシュ氏は連帯系内閣で国防相を2度務め、政治家・知識人としても幅広く活躍されています。本年 9 月 10 日、日本政府は同氏に日波関係における「外交・安全保障分野における協力及び相互理解の促進」への功績で旭日中綬章を授与しました(1928 年 J・ピウスツキ元帥に大勲位旭日桐花大綬章、2002 年 A・マイエヴィチ教授に勲四等旭日小綬章授与)。(いのうえ・こういち、2019.12.2、札幌)